

校長式辞【抜粋】

(前略)

数々の思い出と万感の思いを胸に、この錦中学校を巣立つ百十五名の卒業生の皆さん、晴れの門出に心からお祝いを申し上げます。ご卒業おめでとうございます。

そして、中学校三年間さらには義務教育九年間、わが子の成長を見守ってこられた保護者の皆様におかれましては、これまでの子育ての喜びやご苦勞が思い起こされ、感慨もひとしおではないかと存じます。保護者の皆様にも心よりお祝いを申し上げますとともに、これまで本校に賜りましたご支援とご協力に感謝を申し上げます。誠におめでとうございます。そして、ありがとうございました。

卒業生諸君、皆さんは、授業・部活動・様々な学校行事を含めた中学校生活はもとより、地域社会や日常生活のあらゆる場面において 錦中の伝統をしっかりと継承し、多くのことを学び、成長し、見事な活躍をたくさん見せてくれました。そしてそのことが新たな錦中学校の伝統にもなっています。本当によく頑張った。ありがとう。

君たちのこれまでの たくさんの学びと数々の頑張りは、必ずやこれからの前途ある未来を生き抜く上で、それぞれの生き方や生き様に繋がっていきます。

皆さんはこれから、このふるさと錦町を、この日本を、ひいてはグローバルなこの世界を担っていく大事な大事な社会の一員です。

予測困難なこの世の中においては、もしかすると思うようにいかないこともあるでしょう。しかし、たとえ結果が出なかったとしても、挑戦したそのプロセスを糧として、さらに挑戦し続けるならば、そのことが生きていく上での財産となっていけます。

錦中の校歌にもあるように

さあ、みんなで肩を組んで、

さあ、みんなで胸を張って、

さあ、みんなで声を合わせ、

そして、明日の日本を立ち上げるために、

明日の日本を盛り上げるために、

明日の日本をよみがえさせるために、

それぞれの理想を高く掲げ、

錬磨の旗をうちふって、

栄光を永遠にたたえていきましょう。

卒業生の皆さんの 今後益々の活躍とさらなる挑戦を期待して、式辞とします。

令和八年三月八日

ようか

錦町立錦中学校長

片山 源次